

文部科学省が行っている「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」の各プログラム等に、本学での以下の取組が採択されています。

質の高い大学教育推進プログラム

各大学のポリシーの明確化とPDCAサイクルの確立など組織的運営により教育の質向上とともに、広く社会に情報提供を実施するものです。(特色ある大学教育支援プログラムと現代的教育ニーズ取組支援プログラムを発展的に統合)

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成20年度～平成22年度	医学部	リサーチマインドを育む医学教育体制の構築 —真理の探究心と実践能力を育成するプロジェクト—	医学部学生が、人類の幸福に貢献する高い志と倫理観を獲得し、真理を探究する心と、これを実践できる能力を入学早期から育める体系的・段階的なカリキュラムの構築を目指しています。この企画により、医学生が技術のみの習得に傾倒していくことなく、医療人に必要な基本的姿勢を十分に学び、将来の「科学立国」を担う学際的人材に育つことを目指しています。
平成20年度～平成22年度	工学部	学習等達成度記録簿による教育効果の測定 —電子ポートフォリオと入試データを併用した教育効果の評価—	ポートフォリオを用いた修学指導実績を背景に、(A) ポートフォリオを用いた面談による学習等達成度評価の実施、(B) 教育効果評価に適したポートフォリオ質問項目の改善、(C) この電子化された学習等達成度データベースに、さらに入学時の入試成績も加味した教育達成度の評価指標確立、の3つからなる取り組みを行います。

組織的な大学院教育改革推進プログラム

社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材養成のため、大学院における優れた組織的・体系的な教育の取組を支援するものです。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成20年度～平成22年度	文学研究科	歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画	専門分野に深い学識を有し、かつ幅広い対象資料に通じていて、世界各国の学芸員と対等な活動ができる、高度な資質の学芸員を養成します。
平成20年度～平成22年度	情報科学研究科	情報リテラシー教育専門職養成プログラム—情報倫理・モラルが問われる時代のための情報教育デザイン—	今日の「情報教育」の重要性に鑑み、時代の課題を的確に判断し解決する情報教育デザインを創造・開発し、職能的高度専門職を養成することにより、最先端の情報教育を担当できる人材を幅広く養成します。
平成19年度～平成21年度	教育学研究科	実践指向型教育専門職の養成プログラム	学校教育の質的改善・高度化に貢献する教育実践力を備えた専門人材を組織的に養成し、また、教育設計評価専攻を中心として、教育学研究科及び東北大学全体の支援を受け、理論と実践とを融合した教育研究プログラムを展開し、高度職業人と研究者の養成を行います。
平成19年度～平成21年度	理学研究科	理学の実践と応用を志す先端的科学者の養成	国際的に通用する深い専門性を持った先端理学若手研究者を養成するこれまでの理学研究科の大学院教育を基本にしつつ、新たな学問分野や急速な技術革新に対応できる幅広い実践力と応用力を持った「理学の実践と応用を志す先端的科学者」(フロンティア・サイエンティスト)を養成します。
平成19年度～平成21年度	医学系研究科	多層のかつ双方向的な大学院医学教育実質化—指導的フィジシャンサイエンティスト養成ルネサンス計画—	「複数教員指導制」の実質化を徹底し、博士(医学)の学位を目指す研究活動の中で自立性・協調性の涵養を図り、また、知識と経験の両面から国際性と学際性を育み、国際的に通用する「指導的フィジシャンサイエンティスト」の育成を目指します。
平成19年度～平成21年度	工学研究科	機械工学フロンティア創成—フライト、ロボティクス、ナノを基盤としたシステム統合イノベーション—	従来型の「研究力重視」の教育方針に加え、社会において即戦力となりうる「実現力重視」へと教育方針を拡大し、鍛え抜かれた優れた人材を国際社会・産業界・学術機関のフロンティアへ送り出すことを目指し、機械工学の各分野を包括した分野融合と、評価基準の多様化を軸とした新しい体系的な大学院教育を実施します。
平成19年度～平成21年度	工学研究科	メディカルバイオエレクトロニクス教育拠点	電気系の大学院学生がバイオに加えて医学の知識を体系的に学ぶことにより、エレクトロニクス技術のバイオ応用及びメディカル応用という、21世紀の人類の福祉にとって重要な学際分野を開拓する能力を身につけさせます。
平成19年度～平成21年度	環境科学研究科	環境フロンティア国際プログラム—国際実務研修を通じた文理融合高度教育—	環境科学研究科と経済学研究科との連携によって、経済システムに関する知識と、理系の環境技術に関する知識とを合わせ持った人材(環境フロンティア)を養成します。

大学病院連携型高度医療人養成推進事業

国公立大学病院から申請されたプログラムの中から、質の高い専門医及び臨床研究者を養成し得る内容を有するプログラムに対し財政支援を行うことにより、大学病院及び地域医療の活性化を促進し、将来の医療を担う医師養成の推進を図っています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成20年度～平成24年度	病院	東北高度医療人キャリアパス支援システム (ハブ連結型大学病院間連携専門医養成プラン)	東北地域において高度な専門医を効率よく養成するシステムを構築するとともに、各大学病院の医師キャリアパス支援センターを中心とし、医学生から初期研修医、専門研修医、大学院教育まで、一貫した医師の生涯キャリアパス支援体制を整備します。

がんプロフェッショナル養成プラン

がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師等、がんに特化した医療人養成の取組を支援します。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成19年度～ 平成23年度	医学系研究科	東北がんプロフェッショナル養成プラン	がん対策の一層の充実を図るため、がん専門医療者を目指す若い人材を育成し、専門資格取得のために必要な学識・技能習得と学際的かつ総合的な臨床研究推進能力を高める大学・地域一体の包括的教育プログラムです。

専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム

産業界、学協会、職能団体及び地方公共団体等との連携に基づいた教育方法等の充実に資する先導的な取組について、高度専門職業人養成等の一層の強化を図ることを目的に支援するものです。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成20年度～ 平成21年度	経済学研究科	会計大学院におけるコア・カリキュラム-3大学会計大学院におけるコア・カリキュラムとその実施枠組みの形成-	コア・カリキュラムとその実施枠組みを形成し、その後のコア・カリキュラムに基づいた授業の実践を目指します。このことにより、現在、資格試験と「点」で結びついている教育から体系的な教育プロセスとしての「線」に基づいた会計専門職業人材の育成教育に移行します。

産学連携による実践型人材育成事業（長期インターンシップ・プログラム開発）

産学が人材の育成・活用に関して建設的に協力しあう体制を構築することにより、社会の抱える諸問題や産業界の取組を理解し、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を育成する、これまでにない新たなコンセプトのインターンシップの開発を支援します。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成17年度～ 平成21年度	工学研究科	環境に優しい鉄鋼材料創出教育プログラム	「環境にやさしい鉄鋼材料：グリーンスチール」を実現していく研究実践の場として、鉄鋼企業へ学生を派遣し、社会に有益な新たな技術体系や領域、あるいは価値観を提案・創出していく能力を育成します。

産学連携による実践型人材育成事業（サービス・イノベーション人材育成）

サービスに関する学際的・分野横断的な学問体系を構築することにより、サービスに関して高い専門性を持った人材を育成し、今後のサービス産業の生産性、国際競争力の向上に資する人材を育成する教育拠点を支援します。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成19年度～ 平成21年度	経済学研究科	サービス・イノベーション・マネージャーの育成-サービス・セクターの生産性管理のための人材育成-	サービス・セクター従事者の生産性を正しく評価し、サービス・セクターにおいて新たな生産性を創造し、クオリティを管理できる人材（サービス・イノベーション・マネージャー）を育成します。

理数学生応援プロジェクト

将来有為な科学技術関係人材を育成するため、理系学部を置く大学において、理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力をさらに伸ばすことに重点を置いた取組を文部科学省が大学に委託するものです。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成20年度～ 平成23年度	理学部	先端的数学・物理学の英才教育プロジェクト	数理に突出した素養を早期に引き出し、大学院における研究への橋渡しとすることを目的として、「数学」および「物理学」に特化した少人数の英才教育を行います。

本学でも独自に以下の取組を行っています。

特色ある教育への取組

実践的英語能力をさらに高めることを目的に、学部学生及び大学院学生を対象とした課外授業を実施しています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成17年度～	高等教育開発推進センター	プラクティカル・イングリッシュコース	ネイティブスピーカーを講師とし、ディスカッションやプレゼンテーションを中心に実践の場で必要とされる英語能力取得を目指します。